島根県立 隠岐島前高等学校

所　在　地：〒684-0404　隠岐郡海士町福井1403
電 話 番 号：(08514)2-0731
FAX 番 号：(08514)2-0035
E メ ー ル：okidozen-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：https://www.dozen.ed.jp

設置学科　学級数

各40人定員

◆普通科　1学級　　◆地域共創科　1学級

※1年次は共通のカリキュラムで学習し、2年次に普通科と地域共創科から学科を選択します。

全校生徒数　140名(R8.5.1現在)

育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

〈育てる生徒像〉

グローカル人材…グローバル・ローカルに代表される価値観の違いを超えて協働し、広い視野で考えながら身近な課題に粘り強く向き合い、新たな価値の共創に挑戦しようとする人材。どこにいてもふるさとを思いながら、自分自身の強みや根差す地域の特性を活かして活躍できる人材。

〈伸ばしたい資質・能力〉

主体性	協働性	探究性	社会性
自ら課題を定めて踏み出す力	多様な人や世代と関わりチームで成果を出す力	問いを立て、仮説を検証し続けていく力	世界的な視野で考え足元の地域から実践する力

根幹には　心身の健康・豊かな情操・思いやりの心

求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

- 自分とは異なる意見や価値観を尊重し、周囲の人と協力しながら物事に取り組もうとする生徒
- 身近な課題に対して「なぜ？」という問いを持ち、解決に向けて粘り強く考え、行動しようとする生徒
- 地域との関わりを通じて、自分の強みを磨きながら、ふるさとの未来を共に創ろうとする生徒
- 心身の健康を大切にし、他者を思いやり、互いに高め合える関係を築こうとする生徒

学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

〈両学科共通の教育課程方針〉学ぶ喜びを感じながら、主体的・協働的・探究的・社会的に学びを深める
- 生徒一人一人の習熟度に応じた指導内容や授業展開
- 到達目標（資質・能力等）を明示し、全ての生徒が基礎・基本の力を身に付ける
- 探究と教科が往還することによって相乗効果で資質・能力を育む
- 隠岐島前地域ならではの魅力や課題を教育資源として積極的に活用する
- 実社会や実生活における複雑な事象を対象に、気づく→考える→話し合う→実践する（巻き込む）→成功する／失敗する→振り返る→気づく→…の探究サイクルを身に付ける
- 身に付けた資質・能力を自らがつなげて思考し、グローカルな場面で実践や行動に移す

〈普通科（2年次以降）の教育課程方針〉基礎・基本の定着を図りながら、学習内容を自身の将来や社会と結びつけて深く理解する
- 文系・理系それぞれの多様な進路希望に対応した教科科目選択
- 総合的な探究の時間「夢探究」で、教科・科目で身に付けた資質・能力と探究の見方・考え方を働かせ、社会との関わりを深めながら、自身のキャリアを構築することを目指す

〈地域共創科（2年次以降）の教育課程方針〉教科学習と地域でのより実践的な学びを合わせ、自身の持ち味を炸裂させ、地域や地球に新しい風景を生み出す
- 毎週丸1日「共創 DAY」をとおして地域のリアルな現場での実践的・探究的な学び
- 教科・科目で身に付けた資質・能力を地域での実践的な学びと合わせ、未来共創の実践に活かす

学校経営スローガン
「失敗を共に称え合う学校」

学校経営スローガン「失敗を共に称え合う学校」を実現するためには、行動と内省のサイクルを回す必要がある。
「話し合う」→「実践する／巻き込む」→「失敗する／成功する」→「振り返る」→「気づく」→「考える」→「話し合う」→という行動（踏み込み）と内省（振り返り）のサイクルを回すことで必要な資質能力を身につける。

学校の特色

【学校行事】

本校では地域の実社会や海外へ飛び出す学習機会を通じて「地球規模の視野」と「足元から実践できる力」を持ったグローカル人材を育成しています。2年生の海外研修旅行、JICA（国際協力機構）との協働プログラムである「グローバル探究」があるほか、授業でも「夢探究」「地域地球学」「地域未来共創」などがあります。